

高度金型技術者のための
2025 年度金型スクール講座案内

■特設講座

5月26日(月)～5月27日(火)

描く、伝える製図入門

■金型入門・基礎ユニット(U1)

6月4日(水)～7月4日(金)

■金型実践ユニット(U2)

プレス金型(U2Y)

前半:10月4日(土)～10月10日(金)

後半:10月20日(月)～10月25日(土)

プラスチック金型(U2X)

11月10日(月)～11月22日(土)

日本工業大学

金型スクールの狙い

金型スクールでは基礎力の重視とともに変化への対応力、実践力のある人材の育成を目指しています。そのため 特設講座にはじまり、U1 の金型入門および金型基礎ユニット、U2 の金型実践ユニットへと、段階的に また体系的に組まれた座学や演習を通じて、高度金型技術者として基盤を形成させます。

※図面は設計者と製造側を結ぶ唯一の共通認識の手段です。金型スクールでは設計者の設計意図を正確、的確、わかりやすく伝えるための製図教育を重視しています。

主な学習内容と狙い(イメージ)



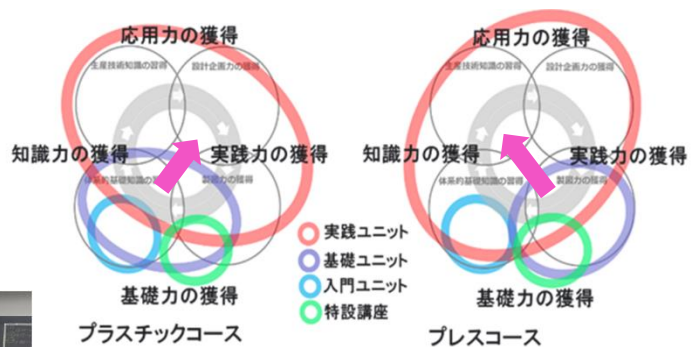
金型仕上げ演習 (入門ユニット) 風景



基礎、実践ユニット 講座風景



コース別学習アプローチイメージ



金型スクールの特徴

- 特設講座、U1、U2 講座による段階ステップ UP により高度金型技術者を養成
- 高度金型技術者として必要な幅広い領域の知識や技術を身につけるための系統的、総合的なカリキュラム
- 2 週間にわたる集中講座と知識の定着性
- 基礎力を重視するとともに理論や数式、関連するデータ等に関する講義
- 講義だけでなく演習、発表、見学等を入れた授業形態や科目構成
- 企業 OB を中心とした経験と知識豊富な講師陣

2025 年度 スクール概要

P4 から P6 は科目説明表です ⇒

特設講座	
5/26(月)～5/27(火)	●描く、伝える製図入門
対面授業	

2023 年度より特設講座「描く、伝える製図入門」を新設いたしました。
本講座はプラスチック、プレスコースに関係なく参加できます。
正しく、的確に、わかりやすく伝える製図スキルを身に付けることを
目的としています。

金型入門・基礎ユニット (U1)		金型実践ユニット (U2)		
U1 入門編		(前半部) 座学中心	(後半部) 演習中心	
プレ ス ・ プ ラ ス チ ッ ク 共 通	6/4(水)～6/6(金) ※6/6は14:50まで ●金型技術者心得と価値創出 ●金型発注企業からみた必要とされる 金型技術者、技術 ●金型ビジネス概論 ●金型の安全性と環境	6/6(金) 15:00～18:10 6/9(月)～6/14(土) ●プレス金型概論 (6/6のみ) ●プレス金型設計・製図基礎の習得 と組立図、部品図演習	10/4(土)～10/10(金) ●プレス機械と周辺装置 ●プレス加工の基礎 ●プレス金型の要素技術 ●プレス部品の生産設計 ●プレス金型構想設計と金型設計 演習 (概論 基礎) U2プレスは前半部と後半部の間が1週間空きます	10/20(月)～10/25(土) ●プレス金型摩耗・破損解析 ●プレス金型構想設計と金型設計 演習 (応用)
	対面とオンラインによる 複合授業	(6/6複合授業) 6/9～6/14対面授業	対面とオンラインによる 複合授業 (1部対面のみ有り)	対面授業
	7/2(水)～7/4(金) ●金型仕上げ演習 ※授業開始: 7/2 (水) 13:00～	6/9(月)～6/14(土) ●プラスチック成形法と材料基礎 ●プラスチック成形金型と加工法基礎 ●プラスチック成形金型設計基礎 ●プラスチック金型設計演習基礎	11/10(月)～11/14(金) ●プラスチック成形法・成形機械 ●プラスチック金型材料と熱処理 ・表面処理、加工法、メンテナンス、 金型熱処理工場見学 ●プラスチック材料 ●成形不良発生要因とそのメカニズム および対策 ●生産性視点の設計企画・金型構想	11/17(月)～11/22(土) ●実践プラスチック金型設計基礎 ●実践プラスチック成形金型設計演習
対面授業	対面授業	対面とオンラインによる 複合授業 (1部対面のみ有り)	対面授業	

- ・科目内容の詳細については P4～P6 をご覧ください。
- ・基礎・入門ユニット(U1)は新しく金型設計に係る方向けのコースです。
- ・実践ユニット(U2)は基礎(U1)の受講者や設計知識のある方、現在、金型設計されている方で、更なる金型技術向上を目指す方向けです。

【オンライン授業について(Microsoft「Teams」使用)】

- ・オンライン受講が可能な科目⇒P4～P6 科目案内表をご覧ください。
- ・本年度から実践ユニット・プラスチックでも導入いたしました。
- ・複合授業では従来の対面授業かオンラインによる授業か、どちらかになりますが、通学可能な方は極力、対面授業でのご参加を
いただきたくお願いいたします。
- ・受講にあたってはインターネット環境とパソコン(カメラ・マイク付き)
等が必要となります。また事前に通信テストをさせていただきます。



オンライン受講が可能な講座・科目概要
入門ユニットの座学 3科目
実践ユニット・プレス金型コース 前半10/4～10/10における座学 5科目
実践ユニットプラスチック金型コース 前半11/10～11/14における座学 5科目

※詳しくはP4～P6の科目説明表をご覧ください。

【定員および開講条件】

- ・教室の受入れ人数は 20 名程度(オンライン受講除く)。
- ただし下記の科目については設備や授業で用いる専用教材に限りがあり、受入れ制限があります。
⇒※入門ユニットにおける「金型仕上げ演習」⇒最大受入れ定員 16 名
⇒※実践ユニット・プレス金型コースにおける「金型の摩耗、破損解析」⇒最大受入れ定員 16 名
- ・開講のための最低定員:開講最低定員 5 人未満の場合、開講を中止することもあります。

【募集〆切日について】

- ・右記の通りです。

講座	募集〆切日	開始日
特設講座;描く、伝える製図入門	5月16日 (金)	5月26日 (月)
金型入門・基礎ユニット (プレス、プラスチック)	5月21日 (水)	6月4日 (水)
金型実践ユニット プレス金型コース	9月19日 (金)	10月4日 (土)
金型実践ユニット プラスチック金型コース	10月24日 (金)	11月10日 (月)

特設講座

5月26日(月)～5月27日(火)

科目名	科目の目的	概要	日程	講師
描く、伝える製図入門 (現場で使える製図入門)	設計図面を正確に、わかりやすく描き、伝えるための製図基礎力形成とスキルの習得。	・JIS機械製図の理解 ・正しく、的確に、わかりやすく伝える製図とは ・製図基礎とスキル習得トレーニング	5/26 ～5/27 10コマ	鈴木

※募集締め切り日および定員、開講条件等については左記 P3 をご覧ください。 受講料 3.7 万円(税別)

入門・基礎ユニット U1 6月4日(水)～7月4日(金)

科目名	科目の目的	概要	日程	講師
金型入門ユニット(U1 プレス・プラスチック共通)				
・金型技術者心得と価値創出	金型を取りまく時代、環境、顧客ニーズの変化に対する金型技術者の心得と、どのように価値を創出、提供していくべきかを学ぶ。	1.金型技術者に求められる知識、意識 2.時代や環境変化と金型技術の開発事例 3.金型の価値創出とは、これからの金型技術者心得	6/4 2コマ	大場
・金型発注企業から見た必要とされる金型技術者、技術	取りまく環境変化に対応し、新しいルールの中で、金型技術者や金型技術が担う重要な役割について伝える。	1.発注企業を取巻く時代動向、環境変化および商品変化による金型技術の変遷 2.破壊的なイノベーション、必要とされる金型技術者・技術	6/4 2コマ	田岡
・金型ビジネス概論	産業上の金型の重要性、日本を含む世界各国の金型事情、国際的競争の現状等、金型の「これまで」、「これから」を伝える。	1.金型とは、日本の金型産業 2.世界の金型事情 3.金型、金型企業・産業のこれから	6/4 ～6/5 6コマ	横田
・金型の安全性と環境	金型製作、あるいは成形やプレス加工現場の労働災害状況やその防止のための法律、安全規格、対策等について理解する。	1.職場の安全と環境 2.リスクアセスメント 3.成形、プレス機械と安全	6/6 3コマ	中島
・金型仕上げ演習 (モノづくり原点体験)	金型技術者として、実際に鋼材を手で加工し、仕上げ、計測し、完成品化するまでの課程を実体験し、「モノづくり」の原点を学び、理解する。	1.金型仕上げの基本作業、けがき、穴あけ、やすり掛け等の機械、工具、加工方法を学び、実体験(演習) 2.作業における各種計測機器の取扱いを学び、演習品の測定、評価を通じた技能習得	7/2 ～7/4 13コマ	本多 鈴木

対面 & オンライン授業による複合授業

金型基礎ユニット プレス金型コース(U1Y)

・プレス金型概論	金型設計の基礎知識として、プレス加工や金型の仕組み、平板の被加工材から形状を得るといふ他の金型と異なることの理解、その為の製品図からプランクを展開し材料取りをすることの概要を学ぶ。	1.金型の基礎、プレス加工の基礎 2.プレス加工用被加工材 3.プレス金型の特長・種類・構成・構造	6/6 2コマ	鈴木 小野
・プレス金型設計・製図基礎の習得と組立図、部品図演習	・金型製作のための図面構成やプレス金型特有の部品図の表現方法を知り、JIS製図法に準拠した製図法を学ぶ。 ・金型図面は設計者の企画、意図を線や図によって表し、製作や使用者関係者に、正確に、かつ分かりやすい表現が必要であることを学ぶ。 ・CAD作図の前段として手描き製図を体験し、製図技術を高める。	(製図演習) 1.プレス金型製図の概要 2.プレス金型製図の基礎 3.JIS機械製図の基礎 4.金型組立製図演習 5.金型組立図から部品図への展開演習 6.金型組立図作品発表・講評	6/9 ～6/14 30コマ	鈴木 小野

金型基礎ユニット プラスチック金型コース(U1X)

・プラスチック成形法と材料基礎	プラスチック材料を用いた諸成形法およびプラスチック材料の種類、広がりについて学ぶ。	1.プラスチック諸成形法 2.プラスチック材料	6/9 4コマ	畑
・プラスチック成形金型と加工法基礎	プラスチック金型材料に関する全般的な基礎知識を習得する。	1.金型産業の状況、素形材産業の動向 2.プラスチック金型に求められる材料製造方法、材料特性、用途 3.プラスチック成形金型の加工法	6/9～10 3コマ	日原
・プラスチック成形金型設計基礎	射出成形金型の設計に必要な基礎および周辺知識について学ぶ。	1.機械製図の基礎知識 (図面意義、三面図、はめあい公差、幾何公差、表面粗さ) 2.金型とプラスチックものづくり全工程概観 3.射出成形金型の機能と構造 4.金型と射出成形加工 5.成形品形状を作り込むための留意点	6/10～ 6/11 8コマ	伊藤
・プラスチック成形金型設計演習基礎	本演習前の機械製図や金型設計基礎の知識をベースに、課題の製品図に対してグループで金型構想検討を行い、続けて行う個人での金型組立図の設計・製図作業を通じて、金型設計の流れの理解と基礎的な図面作成スキルを習得する。	1.機械製図、金型設計基礎知識の確認 2.グループによる金型構想の検討 3.金型構想にもとづく金型組立図の設計演習 4.まとめ・発表・講評	6/12～ 6/14 15コマ	加藤

入門 + 基礎ユニット 1 式受講料 : プレス金型 21.98 万円(税別), プラスチック金型 21.26 万円(税別)

※授業は 1 日 90 分授業 × 5 コマ 時間割については P9 に掲載

※募集締め切り日: 2025 年 5 月 21 日(金) 教室定員 20 名程度

※開講条件等については左記 P3 をご覧ください。

実践ユニット プレス金型コース U2Y 10月4日(土)～10月25日(土)

プレス金型コースにおいては座学と設計演習の間が1週間空きます

科目名	科目の目的	概要	日程	講師
・プレス機械と周辺装置	プレス機械の構造と加工精度の関係について測定データに基づきわかりやすく解説し、機械各部の見方を学ぶ。さらに、プレス機械の3能力とプレス加工との関係、金型とプレス機、周辺装置との関係を学ぶ。	1.プレス機械の構造特性 2.プレス機械とプレス加工 3.自動化システムと周辺装置 4.最新のプレス機械の紹介 5.プレス機仕様と金型設計の関係	10/4 5コマ	村上
・プレス加工の基礎	プレス加工とその金型技術の基盤を構成する材料力学、塑性加工、金属材料特性、および、抜き、曲げ、絞りの各加工機構、加工特性と、その金型技術の基礎となる重要な知見を、講義・演習を通じて習得する。 さらに最近のものづくりから金型への課題を考察し、型の高寿命化の基礎を学習する。	1.金型とプレス加工 2.材料力学入門 3.塑性加工・金属材料特性入門 4.抜き加工の基礎 5.曲げ加工の基礎 6.絞り加工の基礎 7.各種プレス加工と金型 8.最近のプレス加工と型寿命の基礎	10/6～ 10/7 午後 8コマ	足立 藤井
・プレス金型の要素技術	金型材料、加工、組立、品質検査、熱処理、汎用・車用プレス材料等の金型に関する要素技術を学び、プレス金型設計のための基礎技術を取得する。	1.プレス金型の材料 2.金型部品の熱処理 3.金型部品への表面処理 4.金型部品加工と組立 5.汎用および自動車用プレス材料	10/7 午後～ 10/8 7コマ	鈴木 藤井
		6.熱処理工場見学	10/9 2コマ	
・プレス部品の生産設計	金型設計のための製品図の読み方とデザインレビュー、製品図の生産設計の方法およびプレス部品への熱処理、表面処理、塗装、カンメ、溶接などの後工程の概要を学ぶ。	1.生産設計・生産技術の考え方 2.製品図の見方 3.製品図のデザインレビュー 4.プレス部品の後工程	10/9 3コマ	鈴木
・プレス金型の磨耗、破損解析	実際の金型部品やプレス部品の事例研究を通じて金型技術の重要な基本となる観察力、考察力のレベルアップを目指す。 素材の高強度化、鍛造加工との複合化に伴い、今の型技術に求められる型の高強度化、耐摩耗、耐破損の基礎を学ぶとともに、実際に破損した型部品事例の観察演習を通じて、実際に即した解析技術を習得し、型設計力、課題対応力の向上を目指す。	1.破面観察の手法、進め方 2.個別事例研究 3.グループ事例研究、討議 4.事例解説、原因と対策のポイント 5.型の破損・摩耗の対策まとめ 附. プレス部品の特性観察とスケッチによる表現の実際	10/20 5コマ	足立 藤井
・プレス金型構想設計と金型設計演習	金型設計演習では演習課題に対し学んだ知識を駆使して金型設計を行う。 金型の引き合い、受注から製作・試し打ち、顧客への納入、補修等のシステム全般及び品質、コスト、製造性、メンテナンスを考慮した金型設計のあるべき姿を学びプレス部品製作の重要性を知る。 金型製作のための材料、加工方法、処理等学んだ知識を活用し、金型部品を設計する力量を育成する。 顧客仕様に基づいた金型設計を行うための構想設計について学び、プレス金型設計の基本、抜き、曲げ、絞り型夫々の内容を理解し、概要設計を行い学びを深める。自身の課題目標に合った金型の設計を行い、作品を発表する。	【概論・基礎編】 抜き・曲げ・絞り金型設計概要とプレス金型構想設計 1.プレス金型設計の基礎 2.プレス金型の基本3型の設計 ・抜き金型について ・曲げ金型について ・絞り金型について 3.構想設計	10/10 5コマ	鈴木 小野
		【応用編】 1.製品図の設計検討 2.金型設計仕様書 3.生産設計の検討 (形状、寸法公差、加工限界、工程数) 4.金型構造設計 5.金型部品設計(加工性、精度、経済性、納期) 6.金型構造設計討議(設計評価) 7.設計作品発表・講評	10/21～ 10/25 25コマ	鈴木 小野

対面&オンライン授業による複合授業

授業は1日90分授業×5コマ(ただし10/9は80分授業) 時間割についてはP9に掲載 **コース受講料 21.9万円**

(税別)

※募集締め切り日:2025年9月19日(金) 教室定員20名程度

※金型の磨耗、破損解析のみ受入れ定員が16名です。

※開講最低定員(5名)未満の場合は開講を中止することもあります。

実践ユニット プラスチック成型コース U2X 11月10日(月)～11月22日(土)

科目名	科目の目的	概要	日程	講師
・プラスチック成形法・成形機械	プラスチック材料を用いた諸成形法と、その成形機械の解説を中心に、プラスチック技術について総合的に学ぶ。	1.素形材としてのプラスチックの価値(現状と課題) 2.熱可塑性樹脂の成形と成形機械・金型(射出成形の応用および射出成形以外の成形法) 3.熱硬化性樹脂の成形と成形機械・金型 4.プラスチック成形機周辺機器	11/10 5コマ	畑
・プラスチック成型材料の加工法、熱処理・表面処理、メンテナンス	プラスチック成型材料の使用や選定のために材料の製造方法や色々な加工法の理解とともに、その諸特性や留意点等について具体的に学ぶ。	1.金型鋼の製造方法、材料の諸特性・求められる機能 2.プラスチック成型材料の機械加工法、放電加工に伴う問題点と対策等 3.成型材料の熱処理や表面処理及び留意点、それに伴う材料の機能向上、トラブル対策 ⇒11/14工場見学実施	11/11 5コマ	日原
・プラスチック材料	射出成型を中心に使用される色々なプラスチック材料の特性や、その違い、実用上の留意点等について学ぶ。 代表的プラスチック材料の射出成形特性について学び、それらの知識を成形品設計や金型設計に活かすための総合的理解を目指す。	1.プラスチック材料の分類と属する各材料の性質、特徴 :熱可塑、熱硬化・結晶・非晶・成型材料[一般、改質]等) 2.改質材料について (作り方、添加剤による改質、フィラー充填材料、ガラス繊維強化材料、ポリマーアロイ材料、バイオプラスチック等) 3.上記 成型材料の実用上の留意点、応用点、選定方法 4.代表的成型材料の射出成形特性、成形の留意点	11/12 5コマ	本間
・成形不良発生要因とそのメカニズムおよび対策	成形不良を起こさないためにはどうすべきかに焦点を当て、成形不良現象(形態)の把握から、その原因、メカニズムについて総合的な理解と、それを防止するための各種対応方法について学ぶ。	1.射出成型の基本 (成形機、金型、周辺機器、材料と成形条件) 2.成形条件設定の考え方 (予備乾燥、可塑化、射出、保圧、冷却、離型等の条件設定) 2.成形不良現象(形態)の把握と、その原因、メカニズム (銀条、樹脂焼け、未充填、フローマーク、ウェルドライン、ばり、残留ひずみ、そり、ひげ、気泡、断熱圧縮焼け、離型不良、寸法精度不良等) 3.各種成形不良防止のための具体的対応方法 (成型材料、成型条件、成形品設計、金型設計からの対策)	11/13 5コマ	本間
・生産性視点の設計企画・金型構想	製品製造、生産面の色々な付加価値※向上のために、その生産環境、設備～製品設計要素に至る金型設計俯瞰力を身に付ける。 また、生産・品質の要求と製品仕様を考慮した金型設計要素や金型構想の導き出し方について学ぶ。 (※EX.安全・高生産・低コスト・高品質性等)	1.多岐・多様の製品仕様や生産数量の要求の違いに応じた金型構想の考え方と企画検討方法 2.異なった金型構想と総生産数量を考慮した金型要素設計方法(金型構造、キャビティ設計、ランナー・ゲートシステムなど) 3.高付加価値、高生産性、高品質、低コストに向けた金型構想	11/14 3コマ	加藤
・金型熱処理・表面処理工場見学	工場見学を通じてより熱処理・表面処理についての理解を深める。(11/11座学と運動)	1.金型熱処理・表面処理工場見学	11/14 2コマ	日原
・実践プラスチック金型設計基礎	射出成形金型の設計にあたり、プラスチックものづくり全工程を概観し、金型への要求事項や留意点を総合的に学ぶ。 射出成形金型の初期検討、金型構想設計までの基礎を学ぶ。 身近な成形品を題材に、個人およびグループワークを通して、適切な金型仕様を考える力を養う。	1.プラスチックものづくり全工程概観 製品設計、金型設計・製作、射出成形、試作組立、評価試験・検査、出荷 2.射出成形金型の基礎 機能・構造、PL、抜き勾配、成形収縮、成形不良 3.金型の初期検討 型開力・型締力、成形サイクルタイム、金型強度 4.金型の構想設計 モールドベース、ランナー、ゲート、金型温調、突き出し、エアベント、アンダーカット処理機構 5.金型仕様を考える(実習) 成形品を作るための金型仕様を個人ベースで観察・簡易スケッチ。 次にグループで意見交換しながら金型仕様をまとめて発表する。	11/17 ～ 11/19 15コマ	伊藤
・実践プラスチック金型設計演習	本演習前に学んだ全般的なプラスチック技術知識※を基にしてプラスチック成型金型設計、製図演習を行う。 本演習では、課題の成形品に対し金型構想のグループ討議を行い、個人ごとの金型設計に展開し、金型組立設計を行うことで実践的な設計の基礎力を身につける。 (※成型材料・成型加工・成型不良・金型材料・金型設計等に関する知識)	1.機械製図、金型設計図面の解説と講義 2.グループによる金型構想の検討 ・製品図、金型設計仕様書の理解 ・キャビティ、コア金型構想・ゲート、ランナーシステム構想 ・突き出し、アンダーカット処理構想 3.グループの金型構想成果発表、講評 4.個人ごと金型構想検討 (グループ討議結果をベースに金型構想・決定) 5.金型組立図、設計製図(A3図面4枚) ・手描き製図による組立平面図、断面図 6.金型設計製図の成果発表、講評	11/20 ～ 11/22 15コマ	加藤

対面&オンライン授業による複合授業

授業は1日90分授業×5コマ(ただし11/14は80分授業) 時間割についてはP9に掲載

コース受講料 20.1万円

※募集締め切り日:2025年10月24日(金) 教室定員20名程度

(税別)

※開講最低定員(5名)未満の場合は開講を中止することもあります。

受講費用(全科目受講の場合)

ユニット名	コマ数・単価(1コマ90分 3,600円※) ※実践ユニットにおける工場見学実施日においては、 1コマ80分授業とし、時間短縮分を反映させ1コマ3,200円となります。		受講料		備考	
			講義料	一式教材費		
特設講座	描く、伝える製図入門 5/26～5/27	10コマ	37,000円		左記教材費は全科目受講の場合の一式費用となっています。 科目単位やパート受講の場合はそれぞれに教材費がかかります。詳しくは本パンフレットのP10をご覧ください。	
			36,000円	1,000円		
金型入門 ・基礎ユニット	入門 ユニット	座学4科目 6/4～6/6	13コマ	47,800円		
				46,800円		1,000円
	基礎 ユニット	金型仕上げ演習 7/2～7/4	13コマ	54,300円		
				46,800円		7,500円
プレス金型コース 6/6、6/9～6/14	32コマ	117,700円				
		115,200円	2,500円			
プラスチック金型コース 6/9～6/14	30コマ	110,500円				
		108,000円	2,500円			
金型実践ユニット	プレス金型コース 10/4～10/10、10/20～10/25	60コマ	219,000円			
			214,000円	5,000円		
	プラスチック金型コース 11/10～11/14、11/17～11/22	55コマ	201,000円			
			196,000円	5,000円		

(消費税別途)

※実践ユニットにおける工場見学実施日の授業料について

スクールでは1コマ90分 3,600円が基本ですが、実践ユニットにおける工場見学実施日においては1コマ80分授業とし、当日授業5コマに関しては時間短縮分を反映させ1コマ3,200円といたします。

※教材費について

2021年度から「金型仕上げ演習」においては演習用の材料実費をいただいておりますが、他に2024年度よりテキストにおけるカラーページ等の増加にともない、テキスト印刷実費として教材費をいただくこととなりました。何卒ご理解いただきたくお願い申し上げます。

※部分受講について

本パンフレットP10の申込み用紙において申込人数枠が設定されている単位で、受講が可能です。部分受講についてのテキスト代は全科目一式で受講する場合より割高となります(入門ユニット除く)。

※ご注意:開講1週間前からはキャンセル料がかかります(事務手数料として受講料の10%)。

受講料の公的補助や日本金型工業会ご加盟割引について

厚生労働省による「人材開発支援助成金※」の利用可能性があります。

各都道府県労働局の助成金担当部署へお問合せください。

(※EX.採用5年以内かつ35歳未満の方などの場合⇒特定訓練コース・若年人材育成訓練として経費助成や賃金助成等)

ご注意:申請は訓練開始日から起算して1ヶ月前までに所定機関への「訓練実施計画届」等の書類提出が必須となります。申請を検討される企業様は早めに各都道府県労働局の助成金担当部署にご相談下さい。

日本金型工業会ご加盟の場合

ご加盟の企業は教材費を含む受講料の10%の割引が適用されます。申込時にお伝え下さい。

【オンライン受講に際して】

※オンライン受講の場合、通信テストが必要です。

※事前に本学からテキスト等を送付いたしますが、その実費のご負担をお願いいたします(着払い等)。

※不明点についてはお問い合わせください。

修了認定証

入門ユニット、基礎ユニット、実践ユニットの全科目受講者には
一般社団法人日本金型工業会より「修了認定証」が授与され、日本工業大学より「修了証」が授与されます。

受講会場

金型仕上げ演習を除く全ての科目

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-5 日本工業大学 神田キャンパス

金型仕上げ演習(入門ユニット)

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1 日本工業大学 機械実工学教育センター

金型仕上げ演習を除く全ての科目



金型仕上げ演習



問い合わせ・お申込み

お問合せは下記担当者に直接ご連絡か、日本工業大学 金型スクールのホームページを通じてご連絡ください。

お申込みについては P10 の申込書をスキャナー等で読み取り

info@nit-kanagata.com 宛にメールか、FAX(03-3511-7594)送信ください。

当校ホームページからも申込書のダウンロードが可能です。

担当者直通: 金型教育事業部 東京事務所 秋元

Mail : info@nit-kanagata.com TEL:090-1997-7001 FAX:03-3511-7594

金型スクールホームページ: <https://www.nit-kanagata.com>

金型教育事業部 東京事務所 所在地

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-5 日本工業大学 専門職大学院 7F

講座・科目スケジュール

特設講座	5/26(月)~5/27(火)
	描く、伝える製図入門 ①~⑩ (1時限~5時限授業)

入門	日	6/4	6/5	6/6	日	7/2	7/3	7/4
	曜日	水	木	金	曜日	水	木	水
	1時限	金型技術者心得と価値創出①~②	金型ビジネス概論 ①~⑥	金型の安全性と環境①~③	金型仕上げ演習 ①~⑬	/	/	/
	2時限							
	3時限	金型製法企業から見た必置とされる金型技術者、技術①~②						
	4時限							
5時限								

※金型仕上げ演習は
7月2日 3時間限目
13:00からの授業開始です。

入門・基礎ユニット	基礎プレス	日	6/6	日	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14
		曜日	金	曜日	月	火	水	木	金	土
		1時限	プレス金型概論①~②	プレス金型設計・製図基礎の習得と組立図、部品図演習 ①~⑩						
		2時限								
		3時限								
		4時限								
5時限										

基礎プラスチック	日	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14
	曜日	月	火	水	木	金	土
	1時限	プラスチック成形法と材料基礎①~④	プラスチック成形金型と加工法基礎①~③	プラスチック成形金型設計演習基礎①~⑮			
	2時限						
	3時限		プラスチック金型設計基礎①~⑧				
	4時限						
5時限							

実践プレス	日	10/4	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10
	曜日	土	月	火	水	木	金
	1時限	プレス機械と周辺装置①~⑤	プレス加工の基礎①~⑧		金型の要素技術①~⑦	プレス部品の生産設計①~③	プレス金型構想設計と金型設計演習(概論・基礎)①~⑤
	2時限						
	3時限		⑧~⑨ 熱処理工場見学				
	4時限						
5時限							

授業時間

特設講座および
プレスコース(基礎
および実践)に適用

1時限	9:00~10:30
2時限	10:40~12:10
3時限	13:00~14:30
4時限	14:40~16:10
5時限	16:20~17:50

実践ユニット	日	10/20	10/21	10/22	10/23	10/24	10/25
	曜日	月	火	水	木	金	土
	1時限	金型の摩耗、破壊解析①~⑤	プレス金型構想設計と金型設計演習(応用)⑥~⑩				
	2時限						
	3時限						
	4時限						
5時限							

入門ユニットおよび
プラスチックコース(基礎
および実践)に適用

1時限	9:20~10:50
2時限	11:00~12:30
3時限	13:20~14:50
4時限	15:00~16:30
5時限	16:40~18:10

実践プラスチック	日	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14	11/15
	曜日	月	火	水	木	金	土
	1時限	プラスチック成形法・成形機械①~⑤	プラスチック金型材料と熱処理・表面処理、加工法、メンテナンス①~⑤	プラスチック材料①~⑤	成形不良発生要因とそのメカニズムおよび対策①~⑤	生産性視点の設計企画・金型構想①~③	/
	2時限						
	3時限		金型熱処理・表面処理工場見学①~②				
	4時限						
5時限							

実践プラスチック	日	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22
	曜日	月	火	水	木	金	土
	1時限	実践プラスチック金型設計基礎①~⑮			実践プラスチック金型設計演習①~⑮		
	2時限						
	3時限						
	4時限						
5時限							

上記時間割について適用
外の日もあります。詳
しくは別途お問合せくだ
さい。

オンラインによる受講については「受講形態選択」欄に○・等のチェックを入れて下さい。

講 特 座 設	描く、伝える製図入門				37,000円(税別・教材費込み)	人	対面のみ		
	対面のみ				10コマ	5/26~5/27		教材費1,000円含む	
金 型 入 門 ・ 基 礎 ユ ニ ツ ト	科目名		1コマ@3600円	日時	受講料(教材費含む/税別)	申込人数	受講形態選択 OL=オンライン		
	全科目受講:金型入門ユニット(プレス/プラ共通)26コマ		102,100円	(税別・教材費込み)	人	対面		OL	
	部分 受講 記入 欄	金型技術者心得と価値創出		10コマ	6/4~6/5	36,500円(教材費500円)	人	対面	OL
		金型発注企業から見た必要とされる金型技術者、技術							
		金型ビジネス概論		3コマ	6/6	11,300円(教材費500円)	人	対面	OL
		金型の安全性と環境							
		金型仕上げ演習		13コマ	7/2~7/4	54,300円(教材費7,500円)	人	対面のみ	
	※金型仕上げ演習については定員に限りがあるためユニット単位(26コマ)でのお申込みの方優先となります。								
	全科目受講:金型基礎ユニット プレスコース 32コマ1式		117,700円	(税別・教材費込み)	人	対面	OL		
	部分 受講 記入 欄	プレス金型概論		2コマ	6/6	7,700円(教材費 500 円)	人	対面	OL
設計・製図基礎習得および演習		30コマ	6/9~6/14	110,500円(教材費2,500円)	人	対面のみ			
全科目受講:金型基礎ユニット プラスチックコース 30コマ1式		110,500円	(税別・教材費込み)	人	対面のみ				
部分 受講 記入 欄	下記設計演習前の座学3科目(詳細P4参照)		15コマ	6/9~6/11	55,500円(教材費1500円)	人	対面のみ		
	プラスチック成形金型設計演習基礎		15コマ	6/12~6/14	55,500円(教材費1500円)	人	対面のみ		
金 型 実 践 ユ ニ ツ ト ・ プ レ ス 金 型 コ ー ス	全科目受講:金型実践ユニットプレスコース 60コマ1式		219,000円	(税別・教材費込み)	人	対面	OL		
	部分 受講 記入 欄	プレス機械と周辺装置		5コマ	10/4	19,000円(教材費1,000円)	人	対面	OL
		プレス加工の基礎		8コマ	10/6~10/7	29,800円(教材費1,000円)	人	対面	OL
		プレス金型の要素技術		座学 7コマ 工場見学 2コマ ※1	10/7~10/8 10/9(見学)	26,200円(教材費1,000円) 6,400円(教材費 - 円)	人	対面	OL
		プレス部品の生産設計		3コマ	10/9	10,600円(教材費1,000円)	人	対面のみ	←見学
		1週間空きます。							
		プレス金型の摩耗、破損解析		5コマ	10/20	19,000円(教材費1,000円)	人	対面のみ	
	プレス金型設計演習 ※2		概論・基礎5コマ 応用25コマ計30コマ	10/10 10/21~10/25	109,000円(教材費1,000円)	人	対面	OL	
	※1「要素技術」は工場見学を含む9コマ受講が原則です。ただしオンライン受講の方は「工場見学」の2コマ分は外せます。 ※2「プレス金型設計演習」は概論と応用計30コマの受講が基本です。概論のみの受講は出来ません。								
	プ ラ ス チ ク ユ ニ ツ ト ・ 金 型 実 践 ユ ニ ツ ト ・ コ ー ス	全科目受講:金型実践ユニットプラスチックコース 55コマ1式		201,000円	(税別・教材費込み)	人	対面	OL	
部分 受講 記入 欄		プラスチック成形法・成形機械		5コマ	11/10	19,000円(教材費1,000円)	人	対面	OL
		プラスチック金型材料と熱処理・表面処理・加工法・メンテナンス		5コマ	11/11	19,000円(教材費1,000円)	人	対面	OL
		プラスチック材料		5コマ	11/12	19,000円(教材費1,000円)	人	対面	OL
		成形不良発生要因とそのメカニズムおよび対策		5コマ	11/13	19,000円(教材費1,000円)	人	対面	OL
		生産性視点の設計企画・金型構想		3コマ	11/14	10,100円(教材費500円)	人	対面	OL
		金型熱処理・表面処理工場見学(11/11授業と連動)		2コマ	11/14	6,400円(教材費 - 円)	人	対面のみ	
		実践プラスチック金型設計基礎		15コマ	11/17~11/19	55,000円(教材費1,000円)	人	対面のみ	
		実践プラスチック金型設計演習		15コマ	11/20~11/22	55,000円(教材費1,000円)	人	対面のみ	
		※1「要素技術」は工場見学を含む9コマ受講が原則です。ただしオンライン受講の方は「工場見学」の2コマ分は外せます。 ※2「プレス金型設計演習」は概論と応用計30コマの受講が基本です。概論のみの受講は出来ません。							
会社名					受講者氏名(ふりがな必須)				
住所	〒								
申込 担当者	部署 氏名(上長、総務ご担当者、社長様等あるいは受講者ご本人等申込みの主体となられる方をご記入下さい)				割引適用: 日本金型工業会 ご加盟の有・無				
連絡先	TEL		FAX		人材開発支援 助成金の 利用予定				
メール									
通信欄									

本書面に受講ユニット等をご記入の上、03-3511-7594へFAX もしくはinfo@nit-kanagata.comへ送信して下さい。
本学よりの請求書は、お申し込み締め切り日(開講の1か月前)以降、御社へ郵送いたします。

<https://www.nit-kanagata.com>

(公式窓口)

日本工業大学 生涯学習センター 金型教育係
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1

(連絡先)

日本工業大学 金型教育事業部 東京事務所
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-5

日本工業大学 専門職大学院 7F

Mail : info@nit-kanagata.com

TEL: 090-1997-7001 (担当者直通)

FAX: 03-3511-7594